

アサヒ

No. **90**
2018.7

だより

- P2 に～ぬふぁ星
- P3 仕入先紹介
- P3 社員紹介
- P4 経営塾
- P4 社内情報
- P5 社内情報
- P6 ふれあい広場

 **ASAHI**

今回の表紙：久茂地川沿いのゴールデンシャワー

和名ナンバンサイカチは、インド、スリランカ、ミャンマーが原産のマメ科の落葉樹で、黄色い5弁の花を付ける。満開の時期には、まるで黄色いシャワーを浴びているようなところから、ゴールデン・シャワーまたはゴールデンシャワー・ツリーの別名を持つ。日本では沖縄以外では開花しないという。

(撮影場所：那覇市久茂地川平成30年6月)



常務取締役 室 龍海

アサヒフェア2018開催

今年のアサヒフェア開催の年です。8月10日(金)～11日(土)に沖縄コンベンションセンターで開催いたします。

思い起こせば、42年前の1976年に工具を中心とした電設工具展を本社6Fで開催したのが展示会のスタートでした。

開催場所は本社⇒福琉産業ビル⇒三和ホール⇒那覇市民会館⇒宜野湾体育館⇒コンベンションセンターと現在に至っています。

その後、フェアとして電設資材を中心に住設機器及び建築資材をご紹介させて頂いたのが、1985年開催の朝日電材総合フェアです。その後、1992年に創業30周年記念事業の一環として社名を(株)アサヒとし、フェア名称もアサヒ総合フェアと致しました。現在のアサヒフェアの名称となったのは、電材商品はもちろんの事、住設商品取扱いの認知度が定着いたしましたので、1997年から現在のアサヒフェアの名称に変更させて頂きました。

朝日電材総合フェアから数えて、今回のアサヒフェアは16回目になります。

42年前の電設工具展のテーマは、「ニューメディアとのふれあい」でした。当時の最先端機器としてパソコン、FAX、ポケベルなどを展示いたしました事と

ても懐かしく思い起します。

そして、今回のフェアのテーマは、「来て、見て、触れて、新たな発見」です。

日頃の仕事でさらに役に立つ省施工具、及び省エネ商品などを一堂にご覧頂けます。

そして、今回の出展規模は115社、協賛メーカー・後援団体を含めると120数社と過去最大で開催できます事はお得意先様をはじめ出展メーカー、協賛メーカー及び後援各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝する次第で御座います。

新商品を一堂に展示し、電気設備工事店様、機械設備工事店様、設備設計事務所様、施主の皆様時代に先取りする先進的な商品をご紹介する目的で開催いたします。本土との差の無い機器、商材、工具をいち早く取り入れて頂き技術の革新に寄与できたらと思っています。ぜひ、この機会に多くの皆様のご来場をお待ちしています。

末筆に成りますが、今回のアサヒフェア2018に後援して頂く一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会様、沖縄県電気工事業工業組合様、一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会様、皆様の、多大なるご支援、ご協力に感謝しております。

仕入先紹介

河村電器産業株式会社 沖縄営業所様

平素より弊社に対し格別なご愛顧とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年4月より、河村電器産業株式会社沖縄営業所の所長に着任致しました。久保田仁(くぼたじん)でございます。

まず、簡単ではございますが自己紹介させていただきます。昭和44年9月沖縄生まれ沖縄育ちの生粋の沖縄人(うちなーんちゅ)です。

家族構成は、妻と二女一男の5名家族です。

趣味は高校まで野球部に所属していたこともあり、野球を含めたスポーツ全般及びスポーツ観戦です。

入社後、10年間沖縄営業所、その後福岡営業所で3年、そして北九州営業所で所長として11年間と営業・管理を学んできました。

沖縄・福岡・北九州でのお客様には時には厳しく、普段は優しく接していただき、少しは

成長できたのかなと感じています。そんな折、十数年ぶりに沖縄に戻ってきました。

沖縄営業所は3名と少数体制ですが、所員全員気持ち新たに誠心誠意業務に励み、皆様と共に県内の電気・電材業界の

お役に立てる様に頑張っていきます。

新任御挨拶 河村電器産業株式会社 沖縄営業所 所長 久保田 仁 様

では、「顧客第一主義の実践」と呼んでいます。

また、「企業は人なり」という社是を掲げ、全ては人により成り立っている事をカワムラの心として、今後も社会に貢献できる

企業でありたいと考えます。

さらに専門メーカーとしての責務としまして、常にお客様のニーズ・市場の要望に答える商品を開発・販売する事が必要と考えますので引き続きご指導・鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に株式会社アサヒ様の益々のご発展と皆様のご健勝並びにアサヒフェア2018の成功を心より祈念申し上げます。新任のご挨拶とさせていただきます。



左：久保田所長／右：橋本様

河村電器産業株式会社 沖縄営業所
那覇市久茂地二丁目二一〇
那覇第一生命ビル二階
電話 〇九八八六四一〇五〇
FAX 〇九八八六四一〇四五

社員紹介



ヨギ レイナ
名前 与儀 玲奈
出身地 宜野湾市
入社日 平成29年4月1日
所属 管理部 業務課
好きな食べ物 明太子パスタ

- Q1. 落ち着く場所は？
海
- Q2. どこに行きたい？
韓国
- Q3. 趣味は？
スポーツ観戦
- Q4. どうしても苦手なものは？
はと・ゴキブリ
- Q5. 自己PR
まだ分からないことが多いですが、これからがんばります。



ヨシダ カズヤ
名前 吉田 一也
出身地 南城市
入社日 平成28年10月4日
所属 電材一部 第三課
好きな食べ物 らーめん、カレー

- Q1. 弱点は？
腰
- Q2. 携帯はメール派？電話派？
電話派
- Q3. 最近できるようになったことは？
ソーメンチャンプルーが作れるようになりました
- Q4. ペットは何を飼っていますか？
フレンチブルドッグ
- Q5. ストレス解消法は？
体を動かすこと。

琉球・沖縄史の歴史区分

はじめに

はじめまして。縁あって、今回から連載をさせていただく仲村と言います。研究の対象としている琉球・沖縄史の話をしていこうと考えています。

一部の高校や、大学での講義等を除くと、琉球・沖縄史を学ぶ機会というのは非常に限られたもののような気がします。

そのため、今後の話を進める上でも琉球・沖縄史における歴史区分を確認することから、連載をスタートさせていきたいと思えます。

琉球・沖縄史の歴史区分

日本史で言うならば、例えば「平安時代」や「江戸時代」と言った区分に相当するものことです。文献資料(文字資料)が存在しない先史時代もちろんありますが、ここでは主に文献資料が存在する時代を見ていくことにします。

それからすると琉球・沖縄史の時代区分は次のようになります。

古琉球(薩摩による琉球侵攻までの時代)

近世琉球(薩摩による琉球侵攻後の時代)

近代沖縄(明治政府による廃琉置県以後)

現代沖縄(沖縄戦の後の時代)

「琉球」

「琉球・沖縄史」という名称からもわかるように、この地には大きく「琉球」の時代、そして「沖縄」の時代という、時代の区分が一つあります。この琉球と沖縄を分かち時代区分の説明は後ですとして、ここでは先に琉球の時代区分を見てみます。

琉球の時代は、「古琉球」と「近世琉球」との二つに分けて考えられます。この二つは1609年にあった、薩摩藩島津氏による琉球侵攻を区切りとして位置づけます。具体的に何があったのかは、これも次回以降に触れていきましょう。

「沖縄」

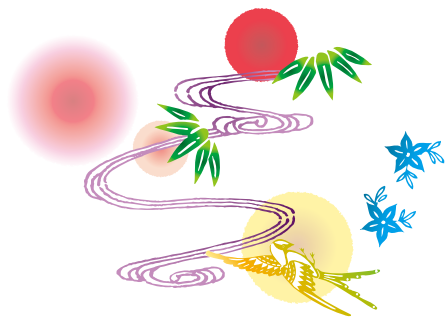
さて続く沖縄の時代も、琉球の時代同様に二つに分けて考えられています。つまり「近代沖縄」と「現代沖縄」ですが、これは沖縄戦を境として区分されることになります。簡単に言えば、戦前が近代、戦後が現代ということになるわけです。

念のために言及しておく、沖縄戦そのものは、それ自体が極めて重要な研究対象となるため、近世や現代といった区分に当てはめることはありません。

今回はイントロダクションとして、琉球・沖縄史の大きな枠組みを説明してみました。次回からは時系列を追いながら、琉球・沖縄史を見ていきましょう。

コラム —琉球と沖縄—

「琉球」と「沖縄」は何も歴史用語というだけではなく、組織の名称として現在も多用されている。例えば「琉球新報」と「沖縄タイムス」、「琉球朝日放送」と「沖縄テレビ」、「琉球大学」と「沖縄大学」などがあるが、米軍統治下(1945～1972年)では、米軍は好んで「琉球」という呼称を用い、または与えていた。



5月度

(パームヒルズゴルフクラブ72)

▽優勝 玉城勝巳(未来工業) G 83 H
17 N 66 ▽2位 岸本史(沖縄三菱) G 91
H 14 N 77 ▽3位 山城亮(アサヒ) G 90 H
11 N 79 ▽ニアピン 岸本史(沖縄三菱)・
渡辺高宏(ネグロス)・丸居一隆(DXA
ンテナ)・小出伸幸(岩崎電気) ▽ドラコ
ン 岸本史(沖縄三菱)・玉城勝巳(未
来工業)・馬渡文尚(ジクラ)・山城亮
(アサヒ)

*6月度のアサヒコンペは台風6号接近のため、中止となりました。

最低限覚えておきたい

ゴルフの基本ルール

OB(アウトオブバウンズ)

ティショット(1打目)がOB(打罰・つまり3打目として再度ティショットを打ちます。

バンカー内の砂にクラブが触れる

2打罰:バンカーに入ったボールを打つ際、クラブを構えたり素振りしたりなどボールを打つ前にクラブが砂に触れると2打罰となります。ちなみにバンカー内にある石や木の葉などに手で触れても2打罰となります。



売上高堅調に推移

第48期株主総会

アサヒは、5月22日(火)本社にて第48期の定時株主総会を開催し、平成29年度の事業、決算等が報告され、承認可決されました。■写真

売上高は、前期比14.5%増の94億58百万円。営業利益も1.2%増の増収、増益となりました。

主な事業として、創業55周年事業として、有力工事を10月12日から14日の2泊3日で国内コース「近畿・中部の旅」、10月24日から28日に海外旅行「ベトナム世界遺産ハロン湾と2都市周遊5日間」を実施しました。また、55周年の集大成として、「アサヒ55年史」を平成30年3月に発刊し、得意先、仕入先、メーカー及び関係先に配布いたしました。

また、隔年実施しております社員研修旅行を11月に「札幌・小樽・函館北海道三都めぐり」を実施いたしました。

社員研修においては、第二種電気工事士の国家資格に6名の社員が合格しております。

その他、各部課題検討会、交通安全教育、防災訓練、文化講演会の全社員研修会を始め、行動力の養成のための「行動力パワーアップ研修」を取り入れ、7名の社員を派遣しました。



アサヒフェア2018

様々なイベントが満載



アサヒは8月10日(金)・11日(土)の2日間、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター展示棟で「アサヒフェア2018」を開催致します。

エネや環境に配慮した資材・電化製品・システムなどを展示・提案します。当日は、大抽選会やパル・シアター・創作太鼓・快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャーショー・激安タイムセールなどさまざまなイベントを準備し皆様の来場をお待ちしております。また、コンベンションセンター内駐車場や宜野湾マリーナ内駐車場も確保しておりますので、お気軽にご来場ください。

管理者養成学校

行動力の養成と頭脳のリフレッシュ！
5日間集中合宿コース

今期は、管理者養成学校の通称「行動力パワーアップ研修」にアサヒの若手・中堅社員8名が参加致しました。糸満にある施設「スポーツロッジ糸満」にて4泊5日の宿泊研修となりました。研修の内容としては、基本動作の訓練から始まり、座学で管理者としての考え方や振る舞いを学び、自分を見つめ直すことの繰り返しだったそうです。その名の通り、かなり厳しい地獄の研修だったそうです。

参加された皆様、お疲れ様でした。これからより一層活躍されることを期待しています！



研修終了時に記念撮影

受講者(写真右から)
電材二部 名護営業所 主任 江口 善治
電材三部 八重山営業所 主任 仲本 新
電材一部 第一課 宮城 尚弘
電材三部 宜野湾営業所 営業課長 崎山 勇人

新入社員紹介

入社して半年が経ちました。まだ分からない事も多く不安もありますが、アサヒの社員として働けることを嬉しく思います。早く仕事を覚えらるよう頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。



管理部 業務課
兼城 成美さん
平成30年1月15日入社

入社して4カ月が経ちました。仕事には少しずつ慣れてきましたが、まだまだ覚える事はたくさんあります。周りの先輩方に教わりながら、日々勉強していきますので、ご指導宜しくお願いします。



管理部 経理課
宮城 佳織さん
平成30年3月12日入社

入社して3カ月が経ちました。入社当時に比べたら、出来る事は少しずつではありますが増えてきました。でも分からない事、出来ない事まだまだたくさんあります。先輩方に教えてもらいながら一日でも早く戦力になれるよう頑張っていきますので宜しくお願いします。



管理部 管理配送課
小濱 翔さん
平成30年4月2日入社



ふれあい広場



楽しいリフレッシュ休暇



リフレッシュ休暇を利用して夫婦水入らず青森県へ旅行に行ってきました。津軽海峡（大間崎）や青函トンネルを見学しました。写真は八甲田山展望テラスでの風景です。とてもきれいでリフレッシュできました。
 （電材二部 中部営業所 次長兼所長 当真 信之さん）



長男の中学生最後のサッカーの試合（中体連）を観戦することができました。残念ながら2戦目で敗退しましたが、子供たちの全力で戦う姿を見てパワーをもらえました。
 （管理部 総務課 課長代理 仲宗根 剛さん）

健康で丈夫に育て
 欲しいです。
 いつでも明るく、笑
 顔で居れる様に育て
 ほしいです。



電材二部 中部営業所 主任
 長浜 恵太さんのお子様
 長浜 真太郎さん（ナガハマ シンタロウ）
 平成30年4月9日誕生



梅雨も明け、本格的な夏がやってきま
 す。水分補給を忘れずに体調を整えて
 楽しく夏を過ごしていきましょう。
 （仲宗根 玲美）

編集後記



電材三部 南部営業所 主任
 玉城 洋平さんのお子様
 玉城 春燈さん（タマキ ハルヒ）
 平成30年3月23日誕生



平成30年3月23
 日、2700グラムで
 産まれてきてくれま
 した。春のような暖
 かな燈（あかり）とな
 り、周りの人たちを
 照らし導く子になっ
 てほしいと願いを込
 めました。元気がいっ
 ぱい大きくなってね。